

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記検査項目を新たに受託開始いたしますので、
ご利用いただきたくご案内いたします。
何卒、ご高承賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬白

記

- 実施日 : 平成20年 9月 1日 (月) ご依頼分より
- 新規実施項目 : STD マルチプレックス PCR (研究検査)
- 受託要項 :

項目コード	項目名	検体量	容器	保存	実施料判断料	所要日数	検査方法	備考
2396	STD マルチプレックス PCR (研究検査)	泌尿器・生殖器からの分泌物 咽頭ぬぐい液	F1	冷蔵	未収載	4~8日	PCR	<p>検体の採取方法につきましては、検査案内 2008 88 ページ クラミジア トラコマチス-PCR、淋菌 DNA-PCR の項をご参照ください。</p> <p>本検査はコンタミネーションのリスクが高いため、検体採取にあたっては十分ご注意ください。</p> <p>他項目との重複依頼は避けてください。</p> <p>本検査で陰性となっても必ずしも病原体の存在を否定するものではありません。</p> <p>本検査は、各病原体の遺伝子を標的としており、稀な遺伝子変異株や欠損株等は検出できない場合がありますのでご注意ください。</p> <p>初尿でない尿検体や PCR 阻害物質が含まれる検体の場合、偽陰性となる可能性があります。内部コントロールによる確認の結果、増幅阻害が認められた場合は、その旨コメントさせていただきます。</p>
		男女初尿 5mL	F2					

● STD マルチプレックス PCR 検出対象病原体一覧

<i>Neisseria gonorrhoeae</i>	(淋菌)
<i>Chlamydia trachomatis</i>	(クラミジア トラコマチス)
<i>Mycoplasma genitalium</i>	(マイコプラズマ ジェニタリウム)
<i>Ureaplasma urealyticum</i>	(ウレアプラズマ ウレアリティカム)
<i>Mycoplasma hominis</i>	(マイコプラズマ ホミニス)
<i>Trichomonas vaginalis</i>	(トリコモナス ヴァギナリス)

* 重複感染の場合、検出された全ての病原体名をご報告します。

◆ 検査の概要

現在、性感染症（STD あるいは STI）の診断においては、*Chlamydia trachomatis*（クラミジア トラコマチス：CT）および *Neisseria gonorrhoeae*（淋菌：NG）の核酸検査が広く普及しておりますが、STD/STI の病原体はそれらに限定されるものではありません。CT も NG も検出されない「非クラミジア性非淋菌性性感染症」の症例は数も多く、その原因として *Mycoplasma genitalium*（マイコプラズマ ジェニタリウム）や *Ureaplasma urealyticum*（ウレアプラズマ ウレアリティカム）などの関与が指摘されていますが、培養法など従来の検査方法ではこれらの病原体を検出することは困難でした。

この度弊社では、マルチプレックス PCR^{*1} に優れた技術を持つ Seegene（シージェン）社^{*2} 製のキットを導入し、6 種類の STD/STI 病原体遺伝子を同時測定できる「STD マルチプレックス PCR」の受託を開始致します。

本検査は、一本の検体で 6 種の病原体の同時検出が可能です。

*1 マルチプレックス PCR：複数のターゲット遺伝子を一本の反応チューブ内で同時に PCR する方法

*2 Seegene 社：韓国に本社のある遺伝子診断薬開発企業。マルチプレックス PCR に適した DPOTM(Dual Priming Oligo) という独自の技術を持ち、感染症・ヒト遺伝子関連の遺伝子検査キットを多数リリースしている。